

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

E-couleur株式会社

【サービス名】

① ワークライフバランスコンサルティング

[オプション：ファシリテーション研修]

[オプション：働き方改革ファシリテーター養成講座]

【支援項目】

① 学校/学年/学級経営
職員会議等の会議
研修等



2025年1月

学校活動支援サービスの概要

	サービス名	概要
①	「働き方改革コンサルティング」	・働き方改革モデルチームの定例会へのコンサルティングを実施。現場を把握し解決策を提示する。 ・教員同士のコミュニケーション不足から生まれる非効率的な業務をなくし、チームで成果を上げる仕組みを作る。
②	ファシリテーション研修	各部会で会議の長時間化を解消するための、ファシリテーションスキルを習得する研修。
③	働き方改革ファシリテーター研修	・より多くの改革案が現場主体で提案され実施できるように、自校内で働き方改革への本質理解を高める。 ・教育委員会との連携や、PTAとの関係を構築するための意見交換 ・成功事例を分析し、事項導入を目指した検討会

静岡市教育委員会 静岡市伝馬町小学校

①教員 20 名による働き方改革意識調査

ワークライフバランスコンサルティング初回は全教員による現状把握を行いました。
目標設定と課題の洗い出しを行い、カテゴリーごとにグルーピングします。
改善について意見交換をして、計画ロードマップを作成しました。

この取り組みが新聞に掲載され、保護者からも関心を集めました。
↓↓↓

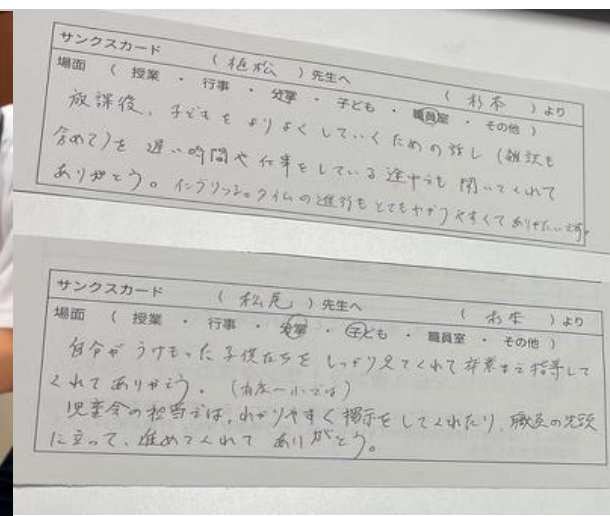


静岡市教育委員会 静岡市伝馬町小学校

②毎月2回のモデルチーム定例会

教科担任制を導入している5年生担任2名を中心に、5人の教員をモデルチームとして選抜し、働き方改革についてPDCAサイクルを繰り返します。
支援事業者は定例会に参加し、解決策を一緒に考えます。

改善事例：①「朝英語の会」担当をシフト制にすることで準備時間が半減。
②「サンクスカード」を実施。職場の協働文化とやりがいの向上促進。



静岡市教育委員会 静岡市伝馬町小学校

③研修

「ファシリテーション研修」

会議の効率化を実現するためのスキルアップ研修。
合意形成までの段取り、アジェンダの作成方法などを研修しました。

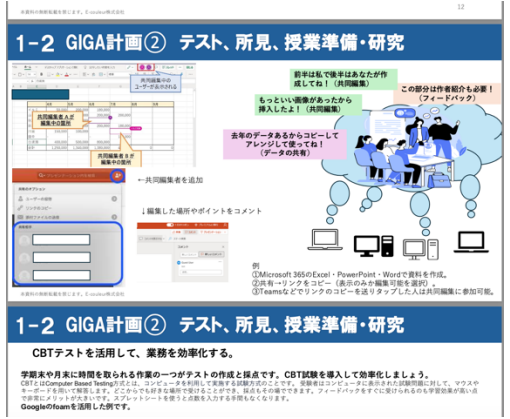
「働き方改革ファシリテーター研修」

本質的な理解の促進と、先生だけでは解決できない問題を、外部にどのようにヘルプシーキングするかを検討する時間を設けました。教育委員会職員へ直接意見交換をする中で来年度新たにカリキュラムマネジメントを組み直すなど、具体的な成果に向けて情報交換が活発に行われました。

静岡県内のTVでも紹介され関心を集めました。



教育委員会へ直接現状を相談し解決策について検討

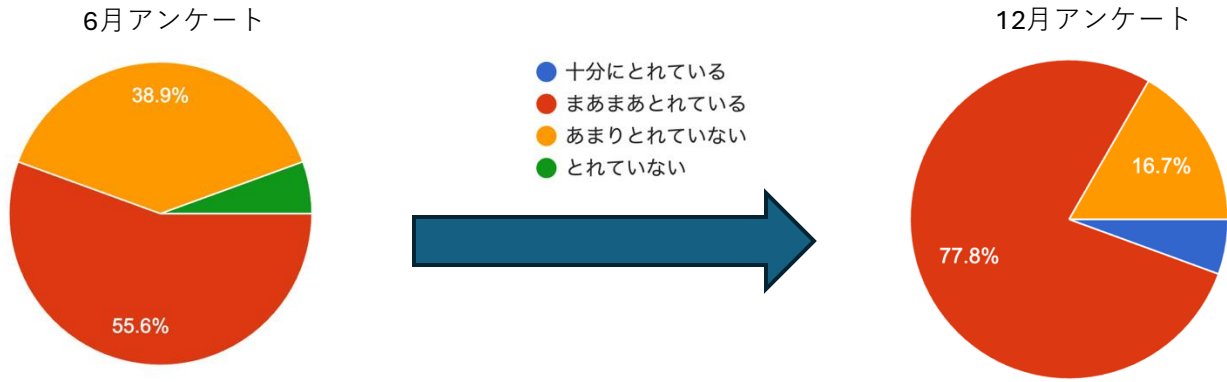


テキストはデータ配布

学校活動支援サービス導入による成果

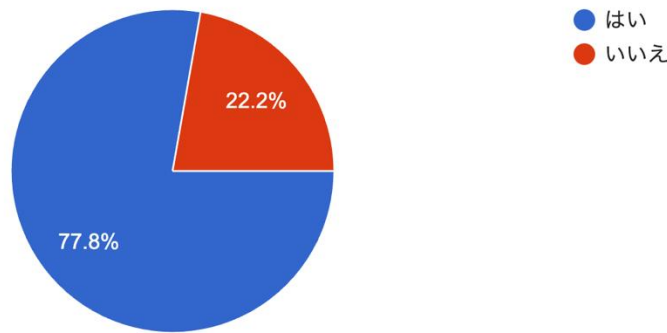
①生産性の向上 モデルチームの取り組みや研修による意識改革の結果、無駄な業務の削減に取り組み、労働時間あたりの生産性を上げることができました。

教材研究や授業準備に必要な時間が取れていますか
18件の回答



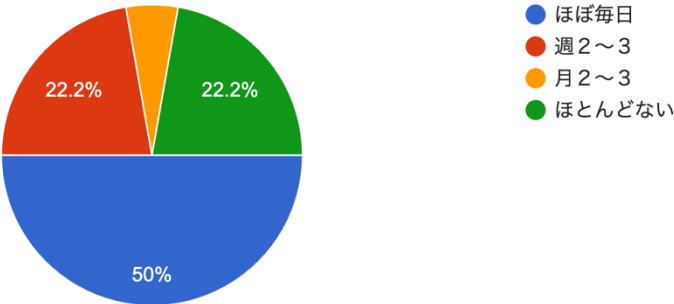
業務の見直し、改善が図られている
18件の回答

やりがいの向上や、業務改善の期待感が高く、定例会を軸に教職員間のコミュニケーションが円滑化し、「チームで成果を出す」といった定性的な変化が見られました。



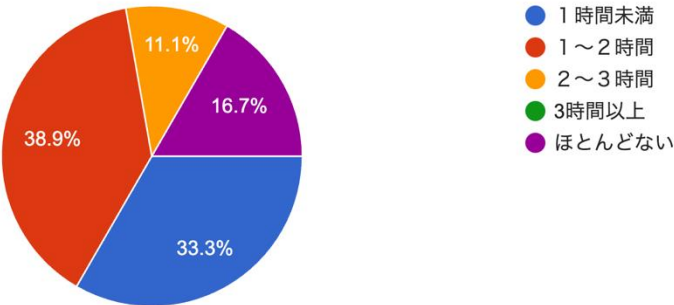
持ち帰りの仕事をする頻度について近いものを選んでください。

18 件の回答



持ち帰りの仕事は何時間ですか

18 件の回答



教員の働き方への意識は肯定的に変わったものの、実質の業務量は大幅に削減できなかったため1〜2時間の持ち帰り仕事をほぼ半数の教員が現在も抱えている状況です。

今後は定量的な成果として、

- ①総会議時間削減
- ②報告書類などの事務作業の見直し
- ③教育委員会との連携強化

をすることで、「教員がより教員らしい仕事」に専念する環境を作れるように支援していきたいと思います。

その改善策として、教育委員会職員と伝馬町小学校との事業報告会と来年度事業意見交換会を実施予定です。

さらにICT支援員の導入を要求しており、事務作業の軽減を目指しています。

サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント

働き方改革推進チームリーダー大川教諭

「働き方改革を、残業しないで早く帰らなければいけないと、勘違いしていました。今回の取り組みによってもっと働きがいのある職場にしたいという思いが強くなりました。労働時間削減も大事だけれども、基本に立ち返り、先生としてのやりがいをみんなが感じられるような働き方に向かって取り組めたことが、とても良かったです。個人的には研修で習ったワークライフシナジーという言葉をととても意識するようになりました。」

4年生担任・英語担当教員

「英語の朝の会について 定例会で課題を洗い出したことで、より効率的な運営をすることができました。毎週2時間の準備時間を1時間に減らすことができましたし、何より1人で抱えていたこの仕事を皆さんにシフト制で担当してもらうことで悩みの共有もでき、心的な負担がとても軽減されました。チームで成果を出すことの重要性を痛感しています。」

養護教諭

「養護教諭は、やらなければいけない仕事が多範囲です。普段忙しい先生たちとなかなか話せていませんでした。定例会で意見交換をさせてもらうことで、お互いの仕事が見えてきたので、協力体制が強化されたように思います。」

教育委員会働き方改革担当稲葉主事

「伝馬町小の取り組みに参加させていただきました。働き方改革ファシリテーター研修では、現場の先生のリアルな声を聞かせていただき、大変参考になりました。委員会としても、働き方改革を推進すべくプランを走らせていますが、教育委員会も課と課の垣根を越えて改革していかななくてはならないと強く感じました。来年度はこの定例会の取り組みを市内全校で実施してもらえるように、新しい組織の形を構築しようと考えています。」





働く喜びの未来へ
Work-Life Integration



イム ソネ

心理学講師・心理カウンセラー 子どもから母親、ビジネスマンまで
心をケアするサロンを立ち上げる。元学校教諭 二児の母親



研修・カウンセリング イークルール株式会社

代表
イム ソネ

公認心理師

働き方改革認定コンサルタント

厚労省認定ストレスチェック実施者

主な研修

- ・教職員のメンタルヘルス
- ・発達特性のあるお子様と保護者への対応
- ・アンガーマネジメント
- ・トラブル介入「生徒主導指導法」実践研修
- ・先生の働き方改革の推進
- ・会議ファシリテーション
- ・中間管理職の組織マネジメント

代表挨拶

学校の先生を13年、その後公認心理師として1万人以上の方にメンタルヘルスやアンガーマネジメントをテーマにした研修講演会などを行いました。
現在は「先生のワークライフバランスの実現と子どもの安心感幸福感向上の実現」を目標に支援事業者として研修や教育委員会のコンサルティングをしております。